

# 課別事務事業評価取りまとめ表 教育総務課

NO	155	カナダ派遣参加生徒数		評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	中学生海外交流事業	人・校		令和2年度より小学校において、外国語の教科化やグローバル化に対応した英語力の向上が重要視されているなか、中学生になって海外へ行く機会があることは、子どもの英語の語学力及び学習意欲向上に非常に有効であると考えられます。	
事業内容	中学生に生きた英語に触れる機会を与えるため、市立中学校生徒2、3年生をカナダに隔年派遣し、現地で英語学習、異文化交流を行います。	<p>参加者の英検取得者数 報告会開催件数 カナダ派遣参加生徒数</p>		課題と改善策	
事業費	7,522千円	活動指標 (折線グラフ)	カナダ派遣参加生徒数 (目標14人:実績14人)	達成率	【課題】 市で実施している他の中学生交流事業との調整を図りつつ、実施方法、経費削減等を検討していくことや派遣された生徒以外への語学力向上意識を高めることが課題となっています。
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標 (棒グラフ)	参加者の英検取得者数 (目標14人:実績11人)	達成率	
				A	【改善策】 経費削減や費用対効果の向上を図るため、地域課での米国ケンタッキー州マディソン郡への中学生ホームステイ派遣事業の動向に注目しながら必要に応じて方法等を協議いたします。語学力向上については、派遣されなかった生徒への波及効果を更に高めるために帰国報告会等で多くの児童生徒へ発信することができるよう実施方法を検討します。
				B	

NO	156	補助教員等配置状況		評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	小中学校単独補助教員等配置事業	人		支援を必要とする児童・生徒に対し、適正な単独補助教員の配置を行います。	
事業内容	通常学級に在籍する特性を持った児童・生徒に対し、個々に応じたきめ細かな指導を実施します。また、図書館司書及び業務員を配置することにより、学習環境を整備します。	<p>補助教員等の配置 司書の配置 業務員の配置</p>		課題と改善策	
事業費	130,936千円	活動指標 (折線グラフ)	補助教員等の配置 (必要数37人:実績37人)	達成率	【課題】 支援を必要とする児童・生徒の増加と個に応じた特別な支援を行う必要があります。
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標の 説明	補助教員等の配置により、児童生徒へのきめ細かな児童や生徒の支援ができ、数値にあらわしにくい成長が考えられます。学校支援は、児童生徒への読書環境整備、調べ学習等の情報提供しており、数値ではあらわしにくい児童生徒への情意面、学習面で成長に参与しえます。業務員は、学校環境整備により児童生徒が安全で快適な学校生活を送ることができています。	達成率	
				A	【改善策】 学習支援を行う単独補助教員と、生活支援を行う支援員の区分けをして配置し、個に応じた教育が行える体制を整えます。
				-	

NO	157	部活動指導員任用状況		評価に対する今後の方向性	拡大・充実
事務事業名	部活動指導員任用事業	人・校		運動部への派遣を行っているが、文化部への派遣も必要であるため、方針を検討する必要があります。	
事業内容	部活動の円滑な運営を目的とし、市が部活動指導員を市立中学校に配置します。	<p>指導員数 学校数</p>		課題と改善策	
事業費	1,453千円	活動指標 (折線グラフ)	指導員数 (目標7人:実績7人)	達成率	【課題】 地域の人材を活用しているため、人材を確保していくことや意向調査等により部活動の自体や学校の意向を把握していくことが必要であります。
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標の 説明	各部の専門的技術の向上と顧問教師の負担が軽減されています。	達成率	
				A	【改善策】 方針を決定し、人材確保に努めます。
				-	

# 課別事務事業評価取りまとめ表 教育総務課

NO	158			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	英語指導助手招致事業			令和2年度からの学習指導要領改訂に伴い、北杜市では平成30年度から英語教科化の先行実施をしています。それに伴いALTを2名増員し、10名としました。また、英語教科化やALTの増員に伴い、外国語教育コーディネーターを配置しました。全ての小中学校にALTが配置できていることから、現状維持とします。	
事業内容	外国語指導助手による中学校での英語授業の補助及び、小学校の新学習指導要領に基づく外国語活動の補助を行います。			課題と改善策	
事業費	48,587千円	活動指標 (折線グラフ)	外国語指導助手招致人数 (目標10人:実績10人)	達成率	A
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標 (棒グラフ)	山梨県学力把握調査(中2英語)正答率 (目標69%:実績76%)	達成率	A
				【課題】 児童・生徒への指導経験がないALTが招致されているため、技術的な支援が必要です。	
				【改善策】 外国語教育コーディネーターを中心に学校訪問やミーティングを開き、技術的な支援を行います。	

NO	159			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	安全体制整備事業			継続してスクールガードリーダー2名体制で、巡回指導や養成講習会を開催します。また、継続してAEDを北杜市立小中学校に設置します。	
事業内容	スクールガードリーダーによる学校の巡回指導やスクールガード養成講習会等を開催します。また、市内小中学校にAEDを設置し、安全管理に努めます。			課題と改善策	
事業費	1,319千円	活動指標 (折線グラフ)	スクールガード養成講習会の開催回数 (目標1回:実績1回)	達成率	A
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標 (棒グラフ)	スクールガード養成講習会参加者数 (目標30人:実績49人)	達成率	A
				【課題】 スクールガードリーダーの高齢化が懸念されます。	
				【改善策】 スクールガード養成講習会を開催し、人材育成に努めます。	

NO	160			評価に対する今後の方向性	拡大・充実
事務事業名	小中学校情報化推進事業			小学校における無線LAN整備や電子黒板の整備は概ね完了し、ICT機器を用いた授業展開が見込まれています。今後は中学校についても、無線LANや電子黒板の整備を進めていくことで、市内の児童生徒が同じようにICT機器を活用した授業を受けられる環境を整備していきます。	
事業内容	新学習指導要領を踏まえた情報教育やICT活用の推進、校務の情報化等を図るため、教育用パソコンや校務用パソコン、電子黒板等を整備します。			課題と改善策	
事業費	111,526千円	活動指標 (折線グラフ)	タブレット型PC(延数) (目標811台:実績811台)	達成率	A
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標 (棒グラフ)	無線LAN環境整備率 (目標45%:実績45%)	達成率	A
				【課題】 ICTを活用した授業を行うためには、一人一人の教員がICTの活用指導力の向上の必要性を理解し、ICTを活用する能力を向上させるよう取り組む必要があります。	
				【改善策】 ICT機器を効果的に活用できるよう教職員を対象にした操作研修の開催や、他の有効事例等を情報提供する等、教職員のスキルアップを図ります。	

# 課別事務事業評価取りまとめ表 教育総務課

NO	161	<h3>教育支援センター設置数</h3> <table border="1"> <caption>教育支援センター設置数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>設置数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		年度	設置数	H28	0	H29	1	H30	1	評価に対する今後の方向性	拡大・充実
年度	設置数												
H28	0												
H29	1												
H30	1												
事務事業名	教育支援センター運営事業	筒所	3	平成30年度は支援センター開設準備であり、今後はセンターとして運営していきます。									
事業内容	県が、適応指導教室「韮崎こすもす教室」を平成30年度で閉鎖することを決定したことに伴い、市で適応指導教室を設置することとなった。平成30年度に開設準備を行い、平成31年4月より開設し、適応指導、教育相談、訪問指導を行います。	活動指標 (折線グラフ)	教育支援センター設置数 (目標1箇所:実績1箇所)	達成率	A								
事業費	5,106千円	成果指標の 説明	教育支援センター設置数 (目標1箇所:実績1箇所)	達成率	A								
担当課	教育委員会教育総務課	課題と改善策	<b>【課題】</b> 利用者に適切な指導を行える環境づくりが必要になります。										
		改善策	<b>【改善策】</b> 各小中学校との連携による情報収集や利用者数が増加した場合の支援員の確保を行っていきます。										

NO	162	<h3>準要保護児童・生徒数</h3> <table border="1"> <caption>準要保護児童・生徒数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>準要保護児童・生徒</th> <th>児童生徒への周知</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>288</td> <td>3,214</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>268</td> <td>3,168</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>260</td> <td>3,090</td> </tr> </tbody> </table>		年度	準要保護児童・生徒	児童生徒への周知	H28	288	3,214	H29	268	3,168	H30	260	3,090	評価に対する今後の方向性	維持継続
年度	準要保護児童・生徒			児童生徒への周知													
H28	288	3,214															
H29	268	3,168															
H30	260	3,090															
事務事業名	小中学校就学援助事業	人	3,000	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行い、経済的に困窮している家庭の児童生徒であっても、安心・安定的に就学できるよう必要不可欠な事業であり、今後も継続していきます。													
事業内容	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行います。	活動指標 (折線グラフ)	児童生徒への周知 (児童生徒数3,090人:実績3,090人)	達成率	A												
事業費	23,476千円	成果指標 (棒グラフ)	準要保護児童・生徒数 (対象者260人:支援者数260人)	達成率	A												
担当課	教育委員会教育総務課	課題と改善策	<b>【課題】</b> 全世帯に周知は行っていますが、不登校等で学校から周知しづらい世帯へは、制度が理解されず、申請に至らないケースがあるのではないかと懸念されます。今後はそのような世帯に対しても通知の郵送や面会時での説明を行い、周知を図って行きたいと考えています。														
		改善策	<b>【改善策】</b> 制度の趣旨及び申請手続きの周知を図り、認定にあたっては申請書の経済状況を適切に判断しながら、生活困窮世帯、低所得世帯の支援を行っていきます。														

NO	163	<h3>小中学校修繕箇所数</h3> <table border="1"> <caption>小中学校修繕箇所数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>修繕箇所数</th> <th>改修工事数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>47</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>87</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>108</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>		年度	修繕箇所数	改修工事数	H28	47	18	H29	87	16	H30	108	17	評価に対する今後の方向性	維持継続
年度	修繕箇所数			改修工事数													
H28	47	18															
H29	87	16															
H30	108	17															
事務事業名	小中学校施設等整備事業	箇所・校	120	小・中学校施設については、中長期保全化計画をもとに整備計画を行います。													
事業内容	小中学校施設において必要な修繕、改修を施し、安全で衛生的な学びやすい環境整備を行います。	活動指標 (折線グラフ)	修繕箇所数 (目標108箇所:実績108箇所)	達成率	A												
事業費	728,906千円	成果指標の 説明	改修の主なものとして、小学校の普通教室にエアコンを設置しました。また、小学校の校舎のトイレについては、洋式化を行いました。	達成率	-												
担当課	教育委員会教育総務課	課題と改善策	<b>【課題】</b> 小・中学校施設については、中長期保全化計画のスケジュールにより、計画的に整備をする必要があります。														
		改善策	<b>【改善策】</b> 市内小学校の学校施設を中長期保全化計画を基に、改修したいと考えます。また、中学校においては、平成30年度策定の中長期保全化計画に基づき、改修計画を作成します。														

# 課別事務事業評価取りまとめ表 教育総務課

NO	164	<h3>「学習応援事業」</h3> <h4>参加生徒数</h4> <p>参加生徒数</p>			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	公営アカデミー学習応援事業				地域人材を活用し、児童・生徒へのきめ細かい支援を行い、家庭学習の習慣化を促します。	
事業内容	長期休業中の学習の場の提供と主体的な学習の習慣づくりを目指した中学生学習応援事業、及び各学校の放課後学習会などの小学生学習応援事業。				課題と改善策	
					【課題】 学力の定着が十分でない児童・生徒に対し、学ぶ楽しさを実感し、家庭学習が習慣になるような取り組みが必要です。	
					【改善策】 「ほくと学び舎」を広く周知し、参加した際には、目的を持って学ぶ楽しさを味わえるように指導します。	
事業費	550千円	活動指標 (折線グラフ)	参加生徒数 (目標423人:実績423人)	達成率 A		
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標 の説明	参加した生徒の感想からは、「快適な環境で集中して学習できた」、「先生の説明がわかりやすかった」といった肯定的な意見が大半を占めており、参加した生徒は達成感、充実感をもったことが伺えます。			達成率 -

NO	165	<h3>ふるさと探検事業</h3> <h4>参加者数</h4> <p>参加児童の満足度(楽しかったと感じた児童) 北杜ふるさと探検隊参加児童数</p>			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	公営アカデミーふるさと探検事業				北杜市では、「不屈の精神と大志を持った人材の育成」を目標に、「夢を持ち、未来を切り拓く、心身ともにたくましい北杜の子ども」の育成を目指し、原っぱ教育に取り組んでいます。この原っぱ教育を推進するうえで地域の資源(人、もの、こと)を活用した学習を進めていきます。	
事業内容	夏期休業中に2回、小学校3年生から6年生までの児童を対象に、「北杜ふるさと探検隊」として、北杜市内の資源(人、もの、こと)を活用した場所へ行き、現地で学習を行います。				課題と改善策	
					【課題】 現地までの引率や学習場所の説明などにかかわる人材確保が課題です。	
					【改善策】 地域人材を活用できるよう、人材確保に努めます。	
事業費	205千円	活動指標 (折線グラフ)	北杜ふるさと探検隊参加児童数 (目標80人:実績59人)	達成率 B		
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標 (棒グラフ)	参加児童の満足度(楽しかったと感じた児童) (目標100%:実績100%)			達成率 A

# 課別事務事業評価取りまとめ表 生涯学習課

NO	166	まなびの杜掲載講座			評価に対する今後の方向性	方法改善
事務事業名	生涯学習推進事業	参加者数			市民が各種生涯学習講座の情報を得る手段として、広報誌やまなびの杜情報誌から得ているため有効です。広報誌に生涯学習専用ページを設けるなど情報提供の方法の見直しが必要です。	
事業内容	各種講座等の開催案内や活動状況を報告するための情報誌「まなびの杜」を年2回発行します。				課題と改善策	
事業費	540千円	活動指標 (折線グラフ)	生涯学習事業啓発情報誌作成 (目標17,000部:実績17,000部)	達成率	【課題】 広報誌で情報を得られない市民への情報提供方法が課題です。	
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ)	まなびの杜情報誌掲載講座参加者数 (目標26,000人:実績31,379人)	達成率	【改善策】 ホームページやチラシを配布するなど情報提供方法を検討します。	

NO	167	生涯学習講座			評価に対する今後の方向性	方法改善
事務事業名	生涯学習講座開催事業	開催数			生涯学習の場の提供として、市民のニーズに即した講座を、健康増進課・介護支援課・林政課・環境課等と連携し開催します。また、市民が生涯学習への取組の目標が持てるよう、まなびの杜パスポート制度を活用します。	
事業内容	市民が身近で楽しく学ぶことができる生涯学習事業を行います。				課題と改善策	
事業費	1,598千円	活動指標 (折線グラフ)	学習講座開催事業数 (目標50回:実績55回)	達成率	【課題】 類似事業を精査し、各種講座情報を収集し、効果的に講座を開催する必要があります。	
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ)	参加者数(延べ) (目標3,000人:実績2,295人)	達成率	【改善策】 生涯学習として開催する各種講座の情報を、健康増進課・介護支援課・林政課・環境課・ほくとこ元気課・観光課等の事業を含め早期に情報収集し、市民に提供します。	

NO	168	ふれあい塾参加者数			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	北杜ふれあい塾開催事業	参加者数			生涯学習社会の構築を目指し、様々なテーマを連続して受講することにより、人との出会いと学ぶ楽しさを市民に実感してもらうため、さらに多くの方に受講生になってもらう必要があります。	
事業内容	東京芸術大学・山梨大学との連携による著名な講師を招いた講演会その他、コンサート、ワークショップを開催する。アンケート等により市民ニーズを把握して、学習講座を年間5~8回程度開催する。				課題と改善策	
事業費	1,518千円	活動指標 (折線グラフ)	講座開催数 (目標8回:実績8回)	達成率	【課題】 市民のニーズに合った講座や、生涯学習の目的にあった講座を企画する必要があります。また、周知方法の工夫も必要です。	
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ)	講座参加者数 (目標700人:実績846人)	達成率	【改善策】 アンケート結果及び企画に携わっている社会教育委員、連携協定を締結している大学と開催内容を検討します。周知方法については、広報、ホームページ、区長による全戸への案内、CATV、チラシ設置、過去の受講生にはダイレクトメールやメール等で発信します。	

# 課別事務事業評価取りまとめ表 生涯学習課

NO	169	公民館運営審議会 開催数			評価に対する今後の方向性	方法改善
事務事業名	公民館運営推進事業				研修を重ね公民館運営に関して意見及び審議を行うには、先進事例を研修する必要があります。研修会での情報を共有する方法を検討し各種研修会へ参加していきます。	
事業内容	住民の意見を公民館事業に反映させるため、北杜市公民館運営審議会委員を委嘱し、審議会を運営します。				課題と改善策	
事業費	302千円	活動指標 (折線グラフ)	会議数 (目標4回:実績4回)	達成率	【課題】 研修を深めその結果を市の公民館運営に反映させるためには、委員の役割、研修の必要性を理解してもらう必要があります。	
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ)	検討事項 (目標1件:実績1件)	達成率	【改善策】 定例会や研修会において、他の公民館の活動事例を学び、各公民館運営に反映できる会議を開催します。	

NO	170	青少年カウンセラー 実施事業数			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	青少年カウンセラー設置事業				本市の青少年カウンセラーは、青少年事業の実施に直接関わっており青少年健全育成には必要です。また、青少年が抱える諸問題に対する相談に対応する為、カウンセリング等専門性を求められています。	
事業内容	青少年を取り巻く現在の環境や問題を認識し、青少年育成事業を展開する。また、相談業務や巡回指導等を実施することにより、青少年の健全育成や非行化の未然防止を図ります。				課題と改善策	
事業費	10,822千円	活動指標 (折線グラフ)	青少年カウンセラー数 (目標5人:実績5人)	達成率	【課題】 青少年を取り巻く環境が多様化する中で、各事業を実施していく為には、隣接する地区との事業統合・連携などが必要です。また、相談業務に対応できるカウンセリング等専門的知識の研修が必要です。	
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ)	事業実施数 (目標150件:実績184件)	達成率	【改善策】 青少年カウンセラーの事業を隣地する地区との統合・連携など見直しを行い、青少年カウンセラーの相談業務と支援センターの相談業務の棲み分けをする中で、子供たちの健全育成を図ります。また、相談業務を拡充したことで、研修の機会と相談の場の確保を検討します。	

NO	171	社会教育委員の 活動状況			評価に対する今後の方向性	方法改善
事務事業名	社会教育推進事業				委員の資質向上のために研修会へ参加していますが、研修内容を選択し研修報告会の場を設定するなど、各種研修会への参加方法を検討します。	
事業内容	年4回の定例会議のほか、必要に応じて臨時会議を開催し、北杜市生涯学習計画の立案、諮問に対する調査研究と答申などを行います。全国、関東、県社会教育研究大会または研修会に参加し、社会教育についての必要な知識を習得します。				課題と改善策	
事業費	509千円	活動指標 (折線グラフ)	研修会参加回数 (目標4回:実績3回)	達成率	【課題】 地域と行政のパイプ役である社会教育委員には、地域の課題解決に活用するために参加する研修が多数あることから、研修への参加方法の検討が課題です。	
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ)	指導件数 (目標4件:実績4件)	達成率	【改善策】 北杜市の現状にあった各種研修会を選択して参加し、委員同士の資質向上と情報共有、意思統一を図るため、参加した研修の報告会を実施するなど、より多くの研修に参加していきます。	

# 課別事務事業評価取りまとめ表 生涯学習課

NO	172	<h2 style="text-align: center;">青少年育成推進の状況</h2> <table border="1"> <caption>青少年育成推進の状況</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加した青少年事業、活動数</th> <th>推進員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>74</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>76</td> <td>176</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>77</td> <td>184</td> </tr> </tbody> </table>			年度	参加した青少年事業、活動数	推進員数	H28	74	181	H29	76	176	H30	77	184	評価に対する今後の方向性 維持継続
年度	参加した青少年事業、活動数	推進員数															
H28	74	181															
H29	76	176															
H30	77	184															
事務事業名	青少年育成推進員事業	件 人			青少年を取り巻く社会情勢や青少年が抱える問題は日々変化しています。青少年健全育成には身近な地域に、活動してもらえ推進員が必要です。												
事業内容	各地域から推薦された推進員を教育委員会が委嘱し、市の青少年健全育成施策を地域の中心となって実施します。	達成率 B															
事業費	375千円	活動指標 (折線グラフ) 推進員数 (目標88人:実績77人)	達成率 B	課題と改善策 【課題】 青少年団体との連携が必要な為、地域において自主的に活動できるよう推進員が必要です。													
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ) 参加した青少年事業、活動数 (目標150件:実績184件)	達成率 A	【改善策】 各地区の青少年健全育成を推進するために、各事業へ参加し現状を把握してもらえよう案内するとともに、自主的に活動できるよう働きかけます。													

NO	173	<h2 style="text-align: center;">成人式出席率</h2> <table border="1"> <caption>成人式出席率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>成人式出席率</th> <th>成人式案内発送数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>69%</td> <td>478</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>80%</td> <td>499</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>69%</td> <td>448</td> </tr> </tbody> </table>			年度	成人式出席率	成人式案内発送数	H28	69%	478	H29	80%	499	H30	69%	448	評価に対する今後の方向性 維持継続
年度	成人式出席率	成人式案内発送数															
H28	69%	478															
H29	80%	499															
H30	69%	448															
事務事業名	成人式開催事業	% 通			次世代を担う子供たちの20歳という節目を祝福することは、ふるさと北杜市の思い出や、成人としての自覚と誇りを持つ機会として継続する必要があります。												
事業内容	新成人を祝福する式典を行います。	達成率 A															
事業費	1,093千円	活動指標 (折線グラフ) 成人式案内発送数 (総数448通:実績448通)	達成率 A	課題と改善策 【課題】 より多くの若者が参加できるよう式典の内容が魅力あるものに検討する必要があります。													
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ) 成人式出席者 (目標100%:実績69%)	達成率 B	【改善策】 2020年の成人年齢引き下げに伴い成人式の開催方法の検討が必要ですが、新成人が回りの人たちへの感謝の気持ちを伝える場であったり、成人としての自覚を持つ場として成人式の開催方法を検討します。													

NO	174	<h2 style="text-align: center;">スポーツ推進委員活動状況</h2> <table border="1"> <caption>スポーツ推進委員活動状況</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>各種研修会等参加率</th> <th>各種研修会数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>69%</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>70%</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>71%</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>			年度	各種研修会等参加率	各種研修会数	H28	69%	19	H29	70%	19	H30	71%	18	評価に対する今後の方向性 維持継続
年度	各種研修会等参加率	各種研修会数															
H28	69%	19															
H29	70%	19															
H30	71%	18															
事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	% 回			事業を行う上で、ある程度の資格を取得することが、国や県の方針になってきているため、実技研修会や講習会等に積極的に参加する必要があります。また、事業の実施にあたり、他団体と連携した事業の実施が必要です。												
事業内容	・各種スポーツ行事その他スポーツの推進に関する事業の実施 ・スポーツ推進委員の育成を目的とした各種研修への参加	達成率 A															
事業費	2,993千円	活動指標 (折線グラフ) 各種研修会数 (目標15回:実績18回)	達成率 A	課題と改善策 【課題】 地域スポーツのコーディネーター・アドバイザーとして、今後もスポーツ推進に関する事業の企画・実施するため、スポーツ推進委員の育成を目的とした各種研修への参加やスポーツ推進委員としての資質の向上を図る為、実技研修会や講習会等に積極的に参加する必要があります。													
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ) 各種研修会等参加率 (目標80%:実績71%)	達成率 B	【改善策】 地域スポーツのコーディネーター、アドバイザーとしての役割を自覚し、事業を行う上で必要な資格取得の促進を図ります。また、北杜市体育協会等の他団体と連携した事業の実施に取り組みます。													

# 課別事務事業評価取りまとめ表 生涯学習課

NO	175	各種スポーツ教室等の参加者数			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	生涯スポーツ推進事業	各種スポーツ教室等の参加者数			参加人数にバラつきはあるが、各種教室のほとんどが定員に達しています。今後も一流のスポーツ選手を活用した教室の開催や地域の特性を活かした事業等を継続して実施して行きます。	
事業内容	スポーツ関係団体等との連携により、地域の特性を活かした、各種スポーツイベント及びスポーツ教室を実施します。				課題と改善策	
事業費	4,736千円	活動指標 (折線グラフ)	各種スポーツ教室等の開催数 (目標13回:実績18回)	達成率	【課題】 スポーツ関係団体と連携・協働し、市民のニーズにあった事業内容を検討していく必要があります。	
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ)	各種スポーツ教室等への参加者数 (目標2,000人:実績2,245人)	達成率	【改善策】 各事業終了後、参加者にアンケート調査等を実施し、その調査等を基にニーズにあった事業を企画、実施して行きます。	
				A	A	

NO	176	児童の運動能力の状況			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	子どもの体力づくり等推進事業	児童の運動能力の状況			「健康体力向上アドバイザー」等の専門的な知識により安心・安全な事業実施が図られており、子どもの体力検定等において、測定方法等のスポーツ指導を行うことで、測定がスムーズ且つ適正に行われています。継続して事業を実施して行くためには、さらなる有資格者が必要です。	
事業内容	体力検定や体力向上の事業など、子どもの体力づくりに必要な事業において、専門的な知識により安心・安全なスポーツ指導を行います。				課題と改善策	
事業費	56千円	活動指標 (折線グラフ)	小学校の体力検定への指導者派遣回数 (目標8回:実績8回)	達成率	【課題】 「健康体力向上アドバイザー」等に有資格者が関わることで、より効率的で安全に事業が実施されています。各種事業の実施において対応できる体制づくりと有資格者の育成が必要です。	
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ)	児童の運動能力の状況 (小学6年男子) (目標59点:実績59点)	達成率	【改善策】 各種事業を行う上で、有資格者が必要とされているため、必要な資格の取得の促進に取り組みます。また、学校、地域、行政が協働し各種事業の実施に対応できる体制の構築に取り組みます。	
				A	A	

NO	177	囲碁美術館来場者数			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	囲碁美術館運営事業	囲碁美術館来場者数			囲碁美術館を活用し事業を実施することで、幅広く市民に囲碁の普及・発展に繋がります。	
事業内容	・囲碁美術品等の展示並びに良好な維持管理 ・子供や女性も対象とした囲碁講座、囲碁交流会の実施 ・囲碁普及のため、6月・8月・2月・3月に囲碁大会を開催し囲碁サミットの参加及びサミット加盟自治体との連携				課題と改善策	
事業費	2,142千円	活動指標 (折線グラフ)	来場者数 (目標4,000人:実績6,156人)	達成率	【課題】 来館者の増加のために、展示品の入れ替え等、美術館をリニューアルすることを検討する必要があります。	
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ)	囲碁教室開催数 (目標100回:実績170回)	達成率	【改善策】 保管している収蔵品の・寄附者の意向の確認をするとともに、美術館内のレイアウトを実施します。	
				A	A	

# 課別事務事業評価取りまとめ表 生涯学習課

NO	178	文化協会支援状況			評価に対する今後の方向性	方法改善												
事務事業名	外郭団体自立促進事業	<p>文化協会支援状況</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>会議開催数</th> <th>事務員配置数</th> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>9</td> <td>1</td> </tr> </table>			年度	会議開催数	事務員配置数	H28	8	1	H29	8	1	H30	9	1	市文化協会の自主的な運営に向け事務員を配置しています。支援の内容を検討する必要があります。	
年度	会議開催数				事務員配置数													
H28	8	1																
H29	8	1																
H30	9	1																
事業内容	平成26年度から文化協会は、自主運営を目指し活動しているが、自主財源を確保するなど運営面で自立できるまでの間、事務員を配置し支援する。(雇用は平成25年度から)			課題と改善策														
事業費	253千円	活動指標 (折線グラフ)	事務員配置数 (目標1人:実績1人)	達成率	【課題】市文化協会の自主的な運営に向けた現状の課題に対して、事務処理の方法等必要な支援の内容を検討する必要があります。													
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ)	会議開催数 (目標6回:実績9回)	達成率	【改善策】市文化協会と一緒に課題を解決していくよう連携を図っていきます。													
				A	A													

NO	179	ホール事業の入場者数			評価に対する今後の方向性	維持継続												
事務事業名	芸術文化自主・共催事業	<p>ホール事業の入場者数</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>入場者数</th> <th>自主・共催事業実施回数</th> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>7,423</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>8,363</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>10,256</td> <td>26</td> </tr> </table>			年度	入場者数	自主・共催事業実施回数	H28	7,423	19	H29	8,363	20	H30	10,256	26	多くの市民が芸術文化事業に触れられるよう多岐にわたる内容の事業を企画し、また、より集客力を上げるため市民のニーズの把握や事業の周知に努めています。	
年度	入場者数				自主・共催事業実施回数													
H28	7,423	19																
H29	8,363	20																
H30	10,256	26																
事業内容	ホール運営検討委員会の意見等を反映させる中で、一流の芸術文化事業を展開する。芸術鑑賞機会の充実を図るため、民間や関係団体・機関等と連携し共催事業を展開する。地域のアーティストや文化団体の発表の場を提供する。			課題と改善策														
事業費	32,768千円	活動指標 (折線グラフ)	自主・共催事業実施回数 (目標26回:実績26回)	達成率	【課題】多くの市民が参加できる芸術文化事業の立案と事業をいかに効果的に周知し、集客に結び付けることができるかが課題であります。													
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標 (棒グラフ)	入場者数 (目標6,000人:実績10,256人)	達成率	【改善策】実績やアンケートの回答を踏まえ、多くの市民が参加できる事業を実施し、チラシやポスター、広報をはじめとし、メディア等あらゆるツールを活用した周知に努めます。													
				A	A													

# 課別事務事業評価取りまとめ表 学校給食課

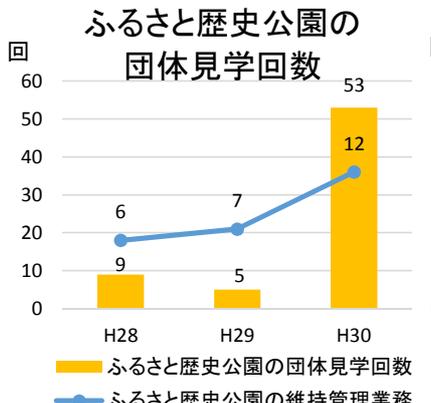
NO	180	<h3>給食提供数</h3>			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	小中学校給食事業				安全・安心の給食提供については、食材の安定供給がなされることが重要であるが、昨今の気候変動は食材価格に大きな影響を及ぼします。また燃料の高騰、人手不足による人件費の高騰、これに伴う配送料の高騰など、食材価格に転嫁される社会的要素が多数考えられるが、今後も限られた予算内で工夫をしながら給食事業を実施していきます。	
事業内容	給食を提供する上で、児童生徒に必要な栄養価やカロリーを確保し、安全安心な給食を提供する。				課題と改善策	
事業費	181,848千円	活動指標 (折線グラフ)	給食提供数 (目標671,971食:実績 649,799食)	達成率	【課題】 食材価格が給食費に反映しないよう工夫が必要です。	
担当課	教育委員会学校給食課	成果指標 (棒グラフ)	一食あたりの単価(小学校) (目標263円:実績258円)	達成率	【改善策】 子育て支援の範囲についての確認や子育て支援に関する他の補助の期限や新規の支援事業等について他の部署の考えを聞きます。全児童生徒の関する部分において新規支援等があるのかどうか。給食費については、県内の給食費の負担状況(動向)等資料収集し、子育て支援の施策との兼ね合いも見ながら、給食費について検討していきます。	

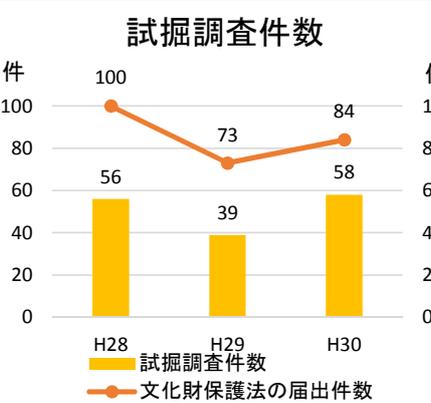
NO	181	<h3>給食における地産地消率</h3>			評価に対する今後の方向性	維持・充実
事務事業名	地産地消給食事業				学校給食物資取扱業者については、十分な契約数が確保できていると判断できるので、今後は契約業者の供給品目・提供期間・提供量等を把握し、献立作成側の栄養士に情報提供・情報共有を行っていきます。地元産野菜等をさらに学校給食に取り入れていくため、郷土食や献立内容を研究していきます。学校給食感謝祭の、定期的・継続的な実施に努めます。	
事業内容	地元農家や商店との連携を図るため、綿密な打ち合わせを行い、年間スケジュールにより旬の野菜等の仕入れ体制を推進する。				課題と改善策	
事業費	8,555千円	活動指標 (折線グラフ)	地産地消対象数 (目標10品目:実績10品目)	達成率	【課題】 5箇所に勤務する栄養士を取りまとめて献立研究の機会を設定するには、それぞれの雇用形態が違うため(県職員・市職員・県臨時職員・市臨時職員)難しい点があります。	
担当課	教育委員会学校給食課	成果指標 (棒グラフ)	給食における地産地消率 (目標45%:実績40.3%)	達成率	【改善策】 地元産野菜等を更に学校給食に取り入れていくため、独自に栄養士と事務担当が献立について研究していくことも計画できるが、機会があれば外部からの講師派遣事業(※)等を活用して、新しい視点からの地産地消率のアップを検討していきたい。 ※講師派遣事業:「地産地消コーディネーター派遣事業」(一財)都市農山漁村交流活性化機構 栄養士については、それぞれ雇用形態が違い難しい面があるが、県や学校に理解を得るなかで、開催日や時間等も考慮しながら献立研究の機会を作っていきたい。	

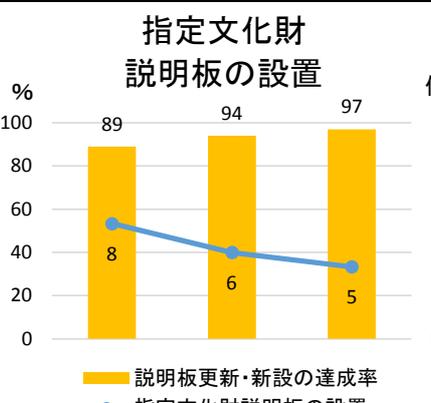
# 課別事務事業評価取りまとめ表 学校給食課

NO	182	<h2 style="text-align: center;">「給食の味付けはちょうど良い」と答えた人数</h2> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>「給食の味付けはちょうど良い」と答えた人数と調理員数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>「給食の味付けはちょうど良い」と答えた人数</th> <th>調理員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>43</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>44</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,331</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table>			年度	「給食の味付けはちょうど良い」と答えた人数	調理員数	H28	43	43	H29	44	44	H30	2,331	43	評価に対する今後の方向性	維持継続
年度	「給食の味付けはちょうど良い」と答えた人数				調理員数													
H28	43	43																
H29	44	44																
H30	2,331	43																
事務事業名	学校給食管理事業				施設の適正な維持管理を行い、調理員の研修等により安全安心な給食業務を実施しているが、施設の老朽化により、経費も増加し、現在の5施設の内3施設は衛生基準のドライ方式ではなく、衛生基準に沿ったドライ運用で給食業務を行っている。今後の方向性としては安全安心の給食提供を継続的に行っていくために、施設の統合を進めて行く。統合により安全性の高い施設で給食を提供し、調理員の確保が年々難しくなっていることから、必要な調理員についても統合により欠員等の解消つながるものと考えます													
事業内容	単独調理場1施設、給食センター4施設の適正な管理運営を行う。また、必要な調理員を確保し、安全安心な給食を提供するため、研修会を開催し衛生面の向上に努める。				<h3 style="text-align: center;">課題と改善策</h3> <p><b>【課題】</b> 北センター及び南センター以外の3施設については、現在老朽化も進み、調理場内についても学校給食衛生管理基準の示すドライ方式ではなく、アレルギー対応についても一部牛乳のみであります。今後さらに安全安心の給食提供をしていくため、3施設については北センターと南センターからの配送を検討し、現在の2つの給食センターの配達対象校の組み合わせも併せて検討していくことが、今後の課題であります。</p> <p><b>【改善策】</b> 統合については、老朽化した施設の課題解決や安全安心の給食提供を実施するために必要であり、統合に向けたメリットについて周知を図っていく。</p>													
事業費	193,734千円	活動指標 (折線グラフ)	調理員数 (目標46人:実績43人)	達成率	B													
担当課	教育委員会学校給食課	成果指標 (棒グラフ)	「給食の味付けはちょうど良い」と答えた人数 (目標2,793人:実績2,331人)	達成率	B													

# 課別事務事業評価取りまとめ表 学術課

NO	183			評価に対する今後の方向性	拡大・充実
事務事業名	ふるさと歴史公園事業			史跡梅之木遺跡公園は観光資源として活用するための工夫が求められます。 史跡金生遺跡公園は開園から30年を経過し、整備手法の陳腐化、施設の老朽化が目立ってきました。 史跡谷戸城公園はアカマツの虫害枯死が目立ち、倒木等による事故も懸念されます。 以上のことから史跡公園の活用方法の検討、施設整備が必要です。	
事業内容	地域住民団体等に委託するなどして歴史公園の除草等を実施し、体験学習等の開催、学校等団体見学の受け入れ、解説を行い活用する。			課題と改善策 【課題】 史跡金生遺跡公園の再整備、史跡谷戸城公園のアカマツ伐採には多大な経費と時間を要することから、段階的に事業化するとともに、国庫補助事業の積極的な導入が必要です。 【改善策】 史跡谷戸城公園は、針葉樹伐採を含む再整備事業を計画し、早期の国庫補助事業の導入に向けて文化庁と協議します。 史跡金生遺跡公園は、谷戸城跡公園の再整備事業終了後に、追加指定、再整備事業を検討します。	
事業費	11,312千円 	活動指標 (折線グラフ)	ふるさと歴史公園の維持管理業務 (目標5回:実績12回)	達成率	A
担当課	教育委員会学術課	成果指標 (棒グラフ)	ふるさと歴史公園の団体見学回数 (目標5回:実績53回)	達成率	A

NO	184			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	文化財調査事業			農業基盤整備事業の実施件数が減少する半面、太陽光発電所建設、個人住宅建設が増加しています。開発行為の件数は市が自律的にコントロールできないため、開発行為の増減傾向を見守ることとします。	
事業内容	周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の開発行為に際し、文化財保護法にもとづき、試掘調査、発掘調査等を実施し、埋蔵文化財を記録保存するほか、可能な場合には現状保存する。また出土品等は展示公開するなどして活用する。			課題と改善策 【課題】 計画的に実施される公共事業と異なり、民間事業者による開発行為は予見できず、限られた人的資源で対応しきれない事態が発生しうることが課題です。 【改善策】 学術課内で機動的な実施体制を構築することを検討します。また民間発掘調査会社等を積極的に活用します。	
事業費	124,573千円 	活動指標 (折線グラフ)	文化財保護法の届出件数 (実績84件)	達成率	-
担当課	教育委員会学術課	成果指標 (棒グラフ)	試掘調査件数 (実績58件)	達成率	-

NO	185			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	文化財活用推進事業			指定文化財説明板更新計画に基づきつつ、文化財の性質・現状を踏まえて説明板を更新していきます。	
事業内容	指定文化財の説明板を更新し、あるいは新規に設置し、文化財を周知・活用を図る。			課題と改善策 【課題】 文化財の性質・現状から、周知・活用が難しいものがあります。 【改善策】 指定文化財説明板更新計画に基づきつつも、文化財の特性を踏まえて活用できるかどうかを考慮し、計画的、現実的に更新していきます。	
事業費	605千円 	活動指標 (折線グラフ)	指定文化財説明板の設置 (目標6件:実績5件)	達成率	B
担当課	教育委員会学術課	成果指標 (棒グラフ)	説明板更新・新設の達成率 (実績97%)	達成率	-

# 課別事務事業評価取りまとめ表 学術課

NO	186	資料館施設見学者数		評価に対する今後の方向性	方法改善																				
事務事業名	資料館施設運営事業	<table border="1"> <caption>資料館施設見学者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>施設見学者数</th> <th>講座等の参加者数</th> <th>企画展開催数</th> <th>講座等開催数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>8,870</td> <td>687</td> <td>8</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>8,624</td> <td>539</td> <td>8</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>9,856</td> <td>562</td> <td>9</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>		年度	施設見学者数	講座等の参加者数	企画展開催数	講座等開催数	H28	8,870	687	8	34	H29	8,624	539	8	27	H30	9,856	562	9	28	見学者数は、市民以外の交流人口が多くを占め、市民の利用が低調です。「展示」という資料館の情報発信手法が、市民のニーズ、生活スタイルに合致していないと思われることから、今後は地域公民館活動等との連携を進め、「地域で市民に届く学芸活動」を展開します。	
年度	施設見学者数	講座等の参加者数	企画展開催数	講座等開催数																					
H28	8,870	687	8	34																					
H29	8,624	539	8	27																					
H30	9,856	562	9	28																					
事業内容	・企画展の開催 年7回程度 ・講座等の開催 年22回程度 ・学芸員出前講座の開催 年3～5回程度 ・学校団体の受入れ並びに学校への出張授業 年30回			課題と改善策																					
事業費	4,027千円	活動指標 (折線グラフ)	講座等開催数 (目標25回:実績28回)	達成率																					
				A																					
担当課	教育委員会学術課	成果指標 (棒グラフ)	施設見学者数 (目標9,000人:実績9,856人)	達成率																					
				A	【課題】 限られた人的資源、財源のなかで、地域公民館活動等との連携を進めるにあたっては、既存事業のスクラップ&ビルトが不可欠で、市民等の理解が必要です。  【改善策】 公民館長・主事連絡協議会、市広報、CATVなどの場、媒体を利用し、地域連携の姿を積極的に市民に説明し、理解を求め、その成果を発信します。																				

NO	187	浅川関係出版物 販売数・配布数		評価に対する今後の方向性	維持継続																
事務事業名	浅川兄弟顕彰事業	<table border="1"> <caption>浅川関係出版物販売数・配布数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>浅川関係出版物販売数</th> <th>浅川関係出版物配布数</th> <th>浅川兄弟関係の出版物の刊行</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>111</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>180</td> <td>74</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>243</td> <td>121</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		年度	浅川関係出版物販売数	浅川関係出版物配布数	浅川兄弟関係の出版物の刊行	H28	111	2	1	H29	180	74	1	H30	243	121	1	基金を活用しながら、今後も出版物の刊行などを通じて、浅川兄弟の功績を市民等に広く周知、顕彰していきます。	
年度	浅川関係出版物販売数	浅川関係出版物配布数	浅川兄弟関係の出版物の刊行																		
H28	111	2	1																		
H29	180	74	1																		
H30	243	121	1																		
事業内容	・出版物の刊行			課題と改善策																	
事業費	4,927千円	活動指標 (折線グラフ)	浅川兄弟関係の出版物の刊行 (目標1点:実績1点)	達成率																	
				A																	
担当課	教育委員会学術課	成果指標 (棒グラフ)	浅川関係出版物販売数 (目標200冊:実績243冊)	達成率																	
				A	【課題】 これまでも浅川兄弟に関する調査、研究はされてきていますが、より史実に基づいたかたちで兄弟の生涯を後世に伝えていく必要があります。次世代を担う子どもたちに浅川兄弟についての関心、理解が深まっていない状況にあります。  【改善策】 市に寄贈された浅川巧の日記に基づく兄弟の研究書の刊行 兄弟の生涯を描いた漫画の制作																

# 課別事務事業評価取りまとめ表 中央図書館

NO	188				評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	図書館管理事業				・施設の維持管理に努めることで、今後も利用者の安全性と利便性に応えられる対応に努めていきます。	
事業内容	・PCのセキュリティと図書館システム保守管理等に万全を期すために、事業者と契約により、常に、個人情報の保護と仕事の効率性を維持していく。 ・よりよい図書館管理を維持していくために、施設状況を把握しながら、必要に応じて修繕、工事等を行っていく。				課題と改善策 【課題】 ・以前から、受付や、利用者の意見を聞く「みなさんのこえ!」、また「市長への手紙」で要望のあるWi-Fiの設置を順次行い、利用者の利便性を向上させていきたい。 ・施設管理費を負担しているたかね図書館(築後19年)、金田一春彦記念図書館(築後21年)等の経年劣化による補修や備品の買い替えが増加しているため、適切な予算の要求に努めていきます。	
事業費	24,728千円	活動指標 (折線グラフ)	インターネットPCウイルス対策・サーバー暗号化委託(予算334,800円:実績334,800円)	達成率	【改善策】 ・経年劣化による構築物の補修や、備品の買い替えについては、できるだけ今年度の予算で対応できるよう、予算残額が確定している予算の流用を要望し対応していきたいと考えています。 ・市民ニーズが高まっているWi-Fi設置については、来年度から、中央図書館である金田一春彦記念図書館に設置できるよう予算要求を行います。	
担当課	教育委員会中央図書館	成果指標 (棒グラフ)	図書館内利用者数(目標320,000人:実績291,556人)	達成率		

NO	189				評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	図書館ボランティア研修事業				図書館利用者の維持と、新たな利用者の拡大には、お話し会や朗読等のボランティアの協力が欠かせないため、内容の充実と登録者数の維持に努めなければなりません。また、研修会への参加者の増加につながるよう取り組んでいく必要があります。	
事業内容	優れた図書館ボランティアの講師を招き、公共図書館ボランティア、学校図書館ボランティア、職員、読み聞かせや朗読ボランティアに興味のある方を対象に研修を実施する。 また、図書館ボランティア同士の実施手法を伝え、新たな図書館ボランティアの確保に努める。				課題と改善策 【課題】 ボランティア研修の講師にスキルの高い指導者をお願いし、指導者による研修会を継続して行うことで、今後もボランティア活動の活性化を促します。また、登録ボランティアに活動手法を知っていただくために、他のボランティア団体の活動を伝え、意見交換を行うことで、ボランティア活動に対する意欲をより高めていただけるよう、随時促していく必要があります。なお、移動の確保等が厳しいことにより、登録を取り消す方が増えていることから、仕事に従事している方々に登録していただけるよう、募集方法を工夫する必要があります。また、研修への参加人数が登録者数に対し少ないことが課題となっています。	
事業費	57千円	活動指標 (折線グラフ)	ボランティア研修の実施回数(目標2回:実績2回)	達成率	【改善策】 ボランティア登録者を維持していくために、若い年齢層の方にも気軽に参加していただけるよう、「土日開催のイベントや図書館まつり」への協力を絞るなど、募集方法の改善と研修会開催時期を年度の後期から前期・中期に変え、出来るだけ他のイベントと重ならないよう、見直しを図り、ボランティア登録者数の確保と研修会への参加人数の増加に取り組みます。	
担当課	教育委員会中央図書館	成果指標 (棒グラフ)	ボランティアの活動実績数(目標330回:実績272回)	達成率		

# 課別事務事業評価取りまとめ表 中央図書館

NO	190	0～6歳児の利用率		評価に対する今後の方向性	維持継続																
事務事業名	ブックスタート事業	<table border="1"> <caption>0～6歳児の利用率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>0～6歳児の利用率</th> <th>ブックスタートの実施</th> <th>セカンドブックの実施</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>154</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>163</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>186</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>		年度	0～6歳児の利用率	ブックスタートの実施	セカンドブックの実施	H28	154	12	11	H29	163	12	12	H30	186	12	12	<p>子どもの成長に応じて参加できるブックスタート事業は、図書館ボランティアの協力を得ながら絵本を介して共に過ごすことの大切さを伝え、図書館のおはなし会への参加を促すことは、親子が安心して出かけることができる居場所を増やすことに繋がります。今後も継続的にこの事業を続ける中で、ほくっと元気課との連携を更に深め、互いの事業の支援内容を知ることで、一組、一組のニーズに合った、よりきめ細やかな支援に繋げていけるよう取り組んでいきます。</p>	
年度	0～6歳児の利用率	ブックスタートの実施	セカンドブックの実施																		
H28	154	12	11																		
H29	163	12	12																		
H30	186	12	12																		
事業内容	ブックスタート(7カ月健診)、セカンドブック(2歳児健診)では、保護者に読み聞かせの大切さを伝え、図書館職員やボランティアによる読み聞かせを行い、ブックスタートでは絵本のプレゼントを行う。サードブックでは、4月23日(「こども読書の日」)に おすすめ本リストなどを配布する。			<p>課題と改善策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員が少数の館においても、現状では他館と同じ出労を行っています。</li> <li>現状では、町毎にブックスタート事業の図書館ボランティアの登録を行っているため、館によって登録者数のばらつきがあります。</li> </ul>																	
事業費	175千円	活動指標 (折線グラフ)	ブックスタートの実施 (目標12回:実績12回)	達成率	A																
担当課	教育委員会中央図書館	成果指標 (棒グラフ)	0～6歳児の利用率 (目標123%:実績186%)	達成率	A																
				<p>【改善策】</p> <p>ブックスタート事業、セカンドブック事業ともに、毎月中央図書館と各図書館の嘱託職員及びボランティアスタッフの協力により、対象者に対し公平なサービス提供ができるよう努めています。しかし、職員が少ない図書館においては、特に負担が大きいため、町毎の図書館ボランティアの登録ではなく、北杜市図書館全体の登録に変え、より積極的なボランティアの協力を呼びかけていく必要があります。</p>																	

# 課別事務事業評価取りまとめ表 甲陵高等学校

NO	191	<h3 style="text-align: center;">図書の年間貸出数</h3> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption>図書の年間貸出数と充実確保</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>図書の年間貸出数 (冊)</th> <th>図書書籍の充実確保 (冊)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1,440</td> <td>332</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,790</td> <td>284</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,005</td> <td>260</td> </tr> </tbody> </table>			年度	図書の年間貸出数 (冊)	図書書籍の充実確保 (冊)	H28	1,440	332	H29	1,790	284	H30	2,005	260	評価に対する今後の方向性	維持・充実
年度	図書の年間貸出数 (冊)				図書書籍の充実確保 (冊)													
H28	1,440	332																
H29	1,790	284																
H30	2,005	260																
事務事業名	甲陵高等学校教育振興事業				引き続き所要の冊数を購入します。併せて利用者ニーズを把握することで、効果的な選定を行い、貸出数の向上を目指します。難関校受験に役立つ書籍を積極的に購入し、旧帝大合格者の増加を図ります。本校はスーパーサイエンスハイスクール指定校であることから、理数系の専門書を重点的に購入し、科学的資質の向上を図ります。最終的に全校生徒が毎月1冊、貸出を受けることを目標とします。(4,320冊/年)													
事業内容	甲陵高等学校の教材備品、消耗品、図書等を購入する。				<p style="text-align: center;">課題と改善策</p> <p>【課題】 購入にかかる予算の確保と利用者ニーズの的確な把握が課題です。</p>													
事業費	4,959千円	活動指標 (折線グラフ)	図書書籍の充実確保 (目標200冊:実績260冊)	達成率 A	<p>【改善策】 図書館司書と各教科主任で連携し、学校カリキュラムで必要となる参考図書を選定します。また、他の図書館との蔵書共有により、一時的な需要の増加に対応可能な場合は、購入ではなく借受により在庫の重複を回避します。これにより、予算の範囲内において、需要の高い書籍を購入することが可能となります。</p>													
担当課	教育委員会甲陵高等学校	成果指標 (棒グラフ)	図書の年間貸出数 (目標2,000冊:実績2,005冊)	達成率 A														